

## 活動報告書

市町村（学校組合）名 学校法人名等	四万十町立東又小学校
担当課・担当者職氏名	校長 中越 あかね

テーマ	未来へつなぐ宝の山 遊べる・学べる・笑顔になれる・地域とともに ～学校林・ビオトープ～		
学校名（学年）	東又小学校 全学年	対象児童・生徒数	68人
概要及び実施内容	<p>1 目標</p> <p>本校は、学校林やビオトープなど自然豊かな環境に恵まれており、「心豊かな児童の育成」を学校教育目標とし、生活科・総合的な学習の時間を中心として学校林やビオトープなどで多様な活動を行っている。特に学校林の活動は6年生が中心となり、毎年3月には5年生に引継ぎ、みんなで楽しめそして地域からも愛される学校林となるように願って、地域の方を巻き込んだ活動を行っている。そのような学習を通して、自然環境への愛着を抱き、恵まれた環境を大切にしながら様々な体験や活動を行い、地域に愛着をもち自然を育む心を養いたい。</p> <p>2 活動内容</p> <p>（1学期）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の観察をしよう（学校林、ビオトープで）（1～2年生）</li> <li>・学校林で楽しもう（学校林の遊具で）（1～6年生）</li> <li>・生き物と親しもう（学校林、ビオトープで）（1～4年生）</li> <li>・昨年度までに植えた木々を観察しよう（学校林）（5・6年生）</li> <li>・昨年度整備したビオトープの木々の観察や水草等の観察や手入れをしよう（3・4年生）</li> <li>・トンボが住みやすい環境になっているかな（ビオトープ）（3年生）</li> </ul> <p>（2学期）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標本木の計測をしよう（学校林）（6年生）</li> <li>・学校林で楽しもう（学校林：ツリークライミング）（6年生）</li> <li>・学校林で楽しもう（学校林：遊具で）（6年生）</li> <li>・山の学習をしよう（5年生）</li> <li>・除伐体験をしよう（学校林）（6年生）</li> <li>・トンボが住みやすい環境づくりをしよう（ビオトープ）（3年生）</li> <li>・木工作をしよう（6年生）（クラブ：4～6年生）</li> <li>・分かったことをまとめて発表しよう（1～6年生）</li> </ul> <p>（3学期）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の観察をしよう（ビオトープ）（1～3年生）</li> <li>・山の学習をしよう（5年生）</li> <li>・シイタケの菌打ち体験（1・2年生）</li> <li>・除伐体験をしよう（6年生）</li> <li>・植林をしよう（ビオトープ、学校林）（3・6年生）</li> <li>・分かったことをまとめよう（1～6年生）</li> <li>・学校林の活動を5年生に引き継ごう（5・6年生）</li> </ul>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビオトープでは、活動を通してトンボに親しんだり、講師招聘してトンボの種類や住みやすい環境づくりについて習ったりすることで、より一層学習が深まった。</li> <li>・学校林では、除伐体験活動や、標本木の計測をしたり、ツリークライミングの体験なども行った。また、今までに毎年1つずつ作り足していった遊具を点検したり、みんなでより一層楽しい場所にするための活動や下級生にも楽しんでもらえる場所となるよう工夫することができた。</li> <li>・このような活動を通して、より一層この場所を愛おしく思い、大切な場所としての思いを強めることができた。</li> </ul>		

（注）

- 1 子どもたちの振り返り、授業で用いた資料、子どもたちの活動の様子を写真等で編集したもの等、活動日の取組状況及び参加者の様子が分かるものを学校単位（各計画毎）で併せて提出してください（様式任意）。印刷したものを添付のうえ、できるだけデジタルデータをメールにて提出してください。
- 2 活動報告書の内容および写真は、ホームページ、パンフレット等で公開する場合がありますので、写真等も含め、該当者への同意を得て作成してください。
- 3 事業を通じて得られた成果（児童・生徒の気づき、変化等）を簡潔に記載してください。

令和2年度 山の学習支援事業費補助金 活動報告書（添付資料）

学校名	四万十町立東又小学校
活動内容1	ビオトープでトンボの生態調べをする
実施日時	令和2年 6月24日（水） 9：25～11：20
対象学年・人数	3・4年生 23人、 教師3人
実施場所	東又小学校ビオトープ
講師	杉村 光俊（四万十市トンボ自然公園 館長）、野村彩恵（トンボ公園）

（活動に使った消耗品）

この日は特になし。

（活動の様子）



講師と一緒にビオトープの池でヤゴを捕まえ、その名前を覚えてもらったり、トンボを捕まえ、その名前を習ったり、飼育方法を習った。また、以前頂いていたトンボ図鑑を使って調べたりもした。図鑑の使い方やトンボやヤゴの捕まえ方を習ったりした。子どもたちは久しぶりに杉村先生や野村さんに来て頂いて、トンボやヤゴについていろいろ習ったので喜んでいました。

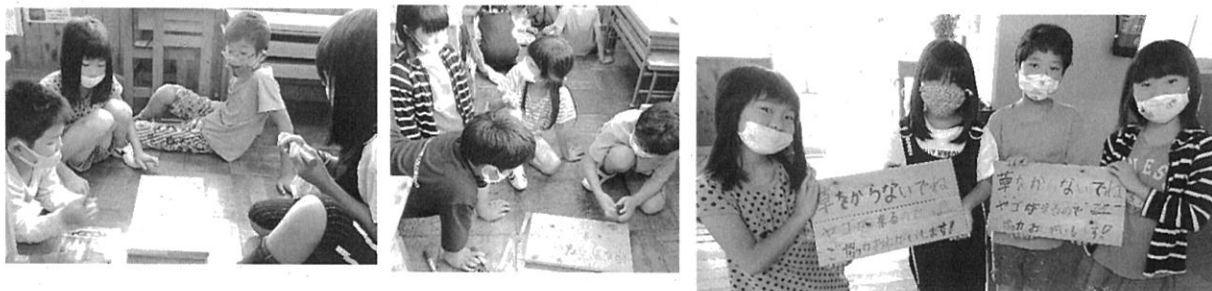
今回、ビオトープの草を刈り過ぎていて、トンボの数が少なかった。杉村先生に「草を刈り過ぎるとトンボが来なくなる」と教えて頂いた子どもたち。次回は、トンボがもっと来てくれるビオトープにするために、水草やトンボが好きな花を植えることとした。

今回、あと少しで羽化するヤゴを見つけたので、飼育方法を習い、捕まえたヤゴは教室で飼うこととした。後日、成虫になり、大喜びだった。



(後日の活動の様子)

草を刈り過ぎるとトンボが来なくなると聞き、ビオトープの中に、草を刈らずに残す場所を作り、トンボがもっともっとたくさん来てくれるビオトープとなるようにするため、刈り過ぎないようにお願いする看板を作成した。そして次回、杉村先生たちが来てくれる7月にビオトープに立てることにした。



(子どもたちの感想)

- 今日初めてトンボの学習をしました。網でトンボを捕まえるのが楽しかった。
- トンボの名前もいっぱい教えてもらいました。「キイトンボ」「クロイトンボ」など、小さいトンボはかわいかったです。「アキアカネ」は高い山まで旅をするそうです。びっくりしました。
- 次のトンボの学習も楽しみです。

(担当教諭の感想)

- 初めてのトンボ学習に、子どもたちは目を輝かせていた。身近にあるビオトープが貴重なトンボのすみかになっていることに感動していた。
- 理科の「昆虫の学習」の時期と重なり、教科書だけでなく実際に観察することで、学習が深まった。特に、ビオトープで見つけたオニヤンマのヤゴを教室で飼って成虫になったことで、次の学習意欲にもつながった。
- 「ビオトープの草を刈り過ぎないことが、トンボの生育に良い」と杉村先生に習ったことを切っ掛けとして、「草を刈り過ぎないでね」と書いた看板を作成してビオトープに立てることにしたことが、次の活動につながった。

活動内容1	ビオトープでトンボの生態調べをする
実施日時	令和2年 7月15日(水) 9:25~11:20
対象学年・人数	3年生 12人、 教師3人
実施場所	東又小学校ビオトープ
講師	杉村 光俊 (四万十市トンボ自然公園 館長)

(活動に使った消耗品)



活動にかかる消耗品の購入

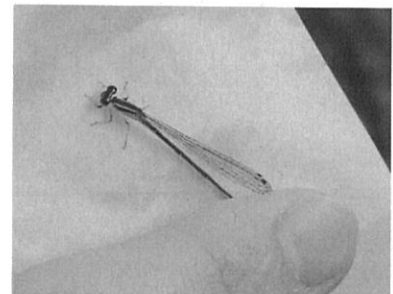
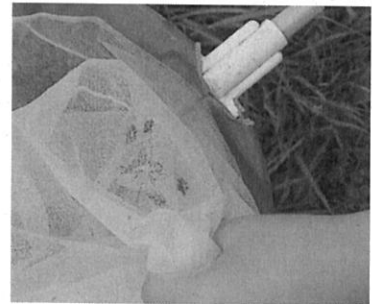
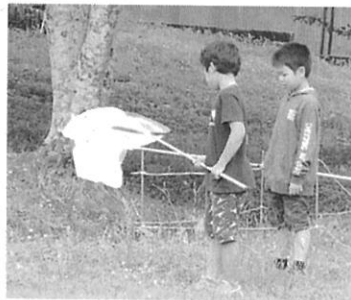
- ・水草用のプランター
- ・水草用の土
- ・色画用紙

(活動の様子)

今日は、前回、杉村先生に習ったトンボがもっと来るための環境づくりの1つとして作った看板を立てたり、トンボがもっと来るビオトープにするために、トンボ自然公園の水草を分けて頂き、プランターに植えてビオトープの池に入れたりする活動を行った。



環境整備を行った後で、ビオトープの池でヤゴを捕まえ、池の中の様子を知るとともにその名前を教えてもらったりした。



(子どもたちの感想)

- ・トンボの名前も花の名前も知ることができて良かったです。
- ・水草を植えるのに、シャベルで山を掘るのも楽しかったです。
- ・みんなで作った看板をビオトープに立てるために、看板をどんと打ちました。
- ・トンボがたくさん来てくれると嬉しいです。

(担当教諭の感想)

- ・今回の学習では、トンボを捕まえることでなく、トンボがもっと来るための環境について考えるよい機会となった。
- ・実際に自分たちで土を掘り、看板を立て作業することで、環境問題にも興味をもつ児童がいた。
- ・トンボ自然公園の「ウーパールーパー」も頂き、学級で飼うこととなり、一つの命の尊さについても考えられるようになった。

活動内容1	ビオトープでトンボの生態調べをする
実施日時	令和2年10月14日(水) 9:25~11:20
対象学年・人数	3年生 12人、 教師3人
実施場所	東又小学校ビオトープ
講師	杉村 光俊 (四万十市トンボ自然公園 館長)

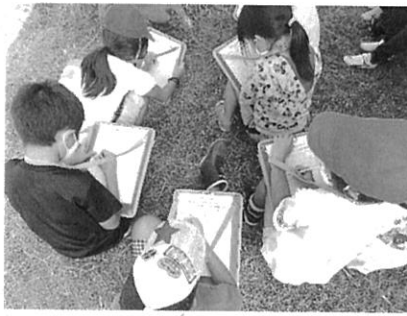
(活動の様子)

今回は、網を使わずトンボを取る方法を講師に習い、チャレンジした。糸で取る方法はなかなか難しく、思うように取れなかったが、指を回して取る方法は何匹か捕まえることができ、大喜びであった。

これからも東又小学校のビオトープにもっとたくさんの種類のトンボが来てくれるように、トンボの好きな環境を作っていこうという話になった。





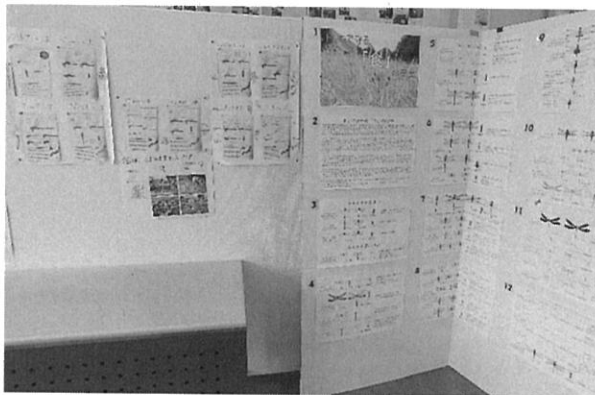
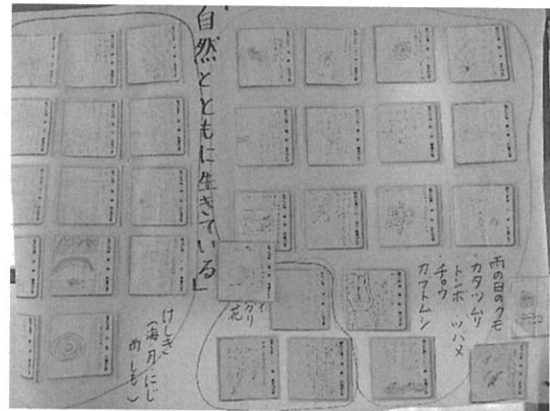


(後日の活動の様子) トンボの学習で分かったことをまとめて、みんなが見てくれるホールに掲示しました。

(活動に使った消耗品)

活動にかかる消耗品の購入

- マス目模造紙
- カラーPPC用紙
- ラミネーター専用フィルム
- ファインカラー用紙



(子どもたちの感想)

- 今日いろいろな種類のトンボを知ることができて嬉しかったです。珍しいトンボも見せてもらいました。
- トンボを捕まえるひもを作るのは、ひもをくくるのが難しかったです。来年の夏に、これを使ってトンボを捕まえてみたいです。
- 指を回してトンボを捕まえる方法を使って、捕まえていた人がいるので、凄いなあと思いました。

(担当教諭の感想)

- トンボを取る方法では、夏のオニヤンマのような大きいトンボを取るためのひもを使った方法では、ひもに重りをつける作業が3年生には難しかったようだった。夏のトンボは、今は飛んでいないので、すぐに試すことができず残念そうだった。
- 指を回して捕まえる方法は楽しそうにやっていた。自分たちがやってみたいことを教えてもらうことで、意欲的に活動できていた。
- トンボについて調べたことや、教えてもらったことを元にしてまとめ、ホールに掲示することで、みんなが見られる情報となった。

活動内容1	ビオトープでトンボの生態調べをする
実施日時	令和2年11月25日(水) 9:25~11:20
対象学年・人数	3年生 12人、 教師3人
実施場所	東又小学校ビオトープ
講師	杉村 光俊 (四万十市トンボ自然公園 館長)

(活動の様子)

今回は、寒くなってきた時期のトンボの生態を学んだ。最近トンボが飛んでいるのを見かけないと思っていたら、この時期のトンボは、斜面の葉っぱの上でじっとしていると習い、探してみたら、校庭横の斜面の草原で発見したりと、新しいことを学ぶことができた。

池の中もよく探すと、トンボのヤゴがじっとしていたり、その他の生きものを見つけたりと、寒い時期ならではの発見があった。



(子どもたちの感想)

- 今日、トンボの学習があった。前日に連絡帳を書いている時、心の中で「やった！トンボの学習や！」と思った。
- 少し雨が降っていたけど、水の中の生きものを捕まえました。ゲンゴロウ、ドジョウ、メダカ、アカハライモリです。
- ショウジョウトンボの寝ているところを見ました。2匹か3匹くらい見ました。見れて嬉しかったです。
- 秋のトンボの種類を教えてくださいました。トンボの種類は10個以上ありました。3学期は2年生と学習するので楽しみです。

(担当教諭の感想)

- あいにくの小雨の中での学習だったが、この天気ならではの休んでいるトンボを見つけることができた。天気の良い日は飛んでいるトンボも、天気が悪い時には葉の裏側でじっと休んでいることを知り、今までとは違う学習の広がりがあった。
- トンボやヤゴを捕まえるのも、だんだんと上手になってきたので、回数を重ねることの意義を感じた。

(後日の活動の様子)

今までのビオトープでの活動で分かったことや、講師の先生に習ったことをもとに、東又祭りの学習発表の場で、発表し、保護者の方に見て頂くことができた。

